

みやぎ生協 福祉活動助成金 助成活動報告書

団体名	ふとうこうカフェ in せんだいみやぎ	
代表者名	武山 理恵	
連絡先 TEL : 090-3982-4088 FAX :	E-mail tanoshiihutoko@gmail.com	

1、助成事業報告

助成を受けた事業名	ふふふる一む各種講座
事業の目的	<p>不登校出現率「全国ワースト1位」となっている「宮城県の不登校児の課題」に対し、不登校児童の受け皿となる居場所作りを行い、子供たちの教育支援や健やかな成長を見守り、サポート。 その居場所作りまでは進めてきたが、プラス、教育的講座も開催。 より子供たちの心身共に健やかな成長に役立てる。</p> <p>仙台市内の不登校小中学生約1700名のうち、適応指導教室（教育行政）でも直接・間接的にリーチできているのは200名程度であり、残り1500名は社会から放置され取り残されている状況と言えるが、そのような、「どこにも繋がっていない親子」への直接・間接的なリーチを増やしていき、孤立した家庭を減らしていく。</p> <p>そのために、探究学習やeスポーツなど、子どもが求める学びを講師や学生、ボランティアなどに協力を仰ぎつつ行っていくことで、「子ども自身が楽しいと思える学び場」、「安心して自分を出せる場」を作りつつ、親同士も集える場を作ることで、不登校家庭の陥りやすい「つながりの貧困」をなくしていく事、宮城県・仙台市から、のびのびと生きていける親子を増やしていくことで、社会の偏見をなくす一助となる事を目的として事業を行った。</p>

<p>事業の具体的内容</p>	<p>親の会・フリースクールなどでニーズをヒアリングしながら、子どもが知りたいこと・やりたいことの中から、会いたい講師を呼び、受けたいワークショップ形式で2時間程度の講座として、主に不登校の子ども達を対象として毎月定期開催した。</p>
<p>活動の開始から完了までの流れ</p>	<p>令和4年4月～日程調整・講師選定などの準備。 以降、団体のLINEグループや、公式LINE、InstagramなどSNSにて告知を随時行った。</p> <p>4月15日 初回ワークショップ開催。</p> <p>以下日程・内容にて月2回程度、計19回開催。</p> <p>3月15日 最終ワークショップ開催、終了。</p> <p>【開催日程】</p> <p>4/15 (金) おうちパン講座 Smile Happy Kitchen 山下亜希子さん</p> <p>5/18 (水) ゴッホ・ムンクの絵を描こう 白川美紀さん</p> <p>5/27 (金) 飾り巻き寿司 亙理洋子さん</p> <p>6/10 (金) バレトンエクササイズ 満園依李さん</p> <p>6/29(水) アロマバスボム作り aromacraft 春彩 佐藤啓愛さん</p> <p>7/8(金) レゴブロックの会 大坂ともおさん</p> <p>7/20(水)</p>

YouTuber さんに話を聴こう
れのれら TV の皆さん

8/5(金)
プログラミング
清水みき先生

8/31(水)
スノードーム作り
瀬戸絵里先生

9/9(金)
楽しい音楽講座
本郷ゆきこ先生

9/21(水)
ドライフラワースワッグ
kanohana さん

10/7(金)
キッズクッキング
加藤美由紀さん

11/9 (水)
墨あそびの会 (書道)
櫻井育子さん

11/30(水)
消しゴムはんこ作り
土屋聡さん

12/7(水)
生花クリスマスフラワーアレンジメント
Magenta 山田剛さん

2/8(水)
家族マトリョーシカ作り
メリーメリークリスマスランド泉友子さん

2/22(水)
手前味噌作り
池田景子さん

3/8 (水)
コアキッズ体操

	<p>関本咲子さん</p> <p>3/15 (水) パステルアートお絵描き 柴田人蜜 (ひとみ) さん</p>
<p>活動の成果と教訓</p>	<p>不登校の中でも、何をやるのか内容がわからない居場所には来づらい子どもでも、講座がある事で来るきっかけとなる場合が多かった。</p> <p>また、フリースクールに通って自由に過ごす事に慣れている子どもでも、ワークショップで触れる内容は普段ではやった事のないものであることが多く、新鮮な学びの数々に非常に楽しんで参加してくれていた。</p> <p>有償で頼んだ講師だけでなく今回ボランティアという形で引き受けてくださった方もおり、継続して次年度以降もフリースクールの内外で連携してできる取組ができそうであることに、大変期待が持てた。</p> <p>講師の方々の選定は、対象がとりわけバラエティ豊かでユニークな子ども達である事を理解した上で、無理やり参加させる事なく子ども達の気持ちに寄り添って講座を展開して下さる方にお声がけをし、実際、参加された親子の皆さんからも非常に満足度が高い声が寄せられた。</p> <p>また、結果的に、付き添いの保護者の皆さんが繋がり合える場としても機能した事が非常に良かった。</p>
<p>今後の展望など</p>	<p>今回、Trick and treat の会場を利用して開催してきたが、マンションの一室という事で、雰囲気はアットホームで参加者には安心してもらえた半面、コロナの事も影響してたくさんの人数を受け入れる事ができず、大々的な告知をするとすぐ人数オーバーしてしまうため、広報面では本当にニーズの高いお子さんにどう届けていくかという事で、丁度良いバランスを考えるのが難しかった。</p> <p>子ども達への学びとして非常に良い物ばかりでまたお願いしたいという声のある講座が多数あるため、場合によっては別の会場の利用や資金的な部分を検討していきながら、今回できた繋がりを生かせるよう今後も活動を続けていきたいと考えている。</p>

2、助成金使途報告書

■ 収入の部

確保した資金内容	金額 (円)	備考
福祉活動助成金	450,000 円	
参加費	55,500 円	
自己資金	19,100 円	
合計	524,600 円	

■ 支出の部

費目	内容	予算額 (円)	実支出額
講師派遣手数料	講師料 19 名分	44 万円	314,000 円
レンタル場所代	1 時間 1500 円×3 時間× 20 回 (コロナで延期キャン セル 1 回分含む)	9 万円	90,000 円
お茶、お菓子代	持ち寄り等に対応	1 万円	0 円
材料費		6 万円	49,000 円
合計		60 万円	524,600 円

*用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

3、送付必要書類

- ① 福祉活動助成金 助成活動報告書
プリントアウトしたものを 1 部郵送、データもメールでお送りください。
- ② 領収書のコピー (郵送)
- ③ 成果物 (活動の様子がわかる写真、または事業で作成したものを郵送)
*写真は郵送とメールで送ってください。